

東町内会だより  
<2020年10月>

◎ 10月4日(日) 組長会議

新型コロナウイルスの危険が未だ終息していないため、今月も組長会議はテイクアウト方式(会館外で資料配布のみ)で実施しました。

◎ 10月11日(日) 第34回 和泉中央連合体育祭

新型コロナウイルスの影響により、今年は中止となりました。



「東町界隈の今昔探訪」

～4～

[文:安西 香(27組)、編集:畑中 祐一(38組)]

～近くにある名所・旧跡～

当町内会が所属している和泉中央連合自治会の会館は泉中央公園内にあります。ここは、泉小次郎親衛<\*1>の館跡で、創建は建暦2年(1212)と伝えられています。

園内には「泉小次郎馬洗いの池」があり、池は一年中湧水が枯れることなく、昔から旱魃が続くと、池の水を汲み干し雨乞いの願をかけてきました。

泉小次郎親衛の道場として創建したとされるのが臨濟宗長福寺で、鎌倉円覚寺の末寺です。隣接する須賀神社はその守護神として伝えられています。昔は「天王社」と称していましたが、明治に入り神仏分離令により須賀神社と改められました。

近くには長福寺の守り本尊と言われている不動尊<\*2>があり、館の鬼門除けとして勧請したと言われている「神明社」があります。

次回につづく



長福寺 ↑



← 泉小次郎馬洗いの池

<\*1> 建暦3年(1213)3月、泉小次郎は和田義盛の子義直、義重と甥の胤長などと語らって、二代将軍源頼家の遺児千寿丸を擁して、北条義時を倒そうとしたが計画が事前に発覚し、この地から逃亡したことが吾妻鏡に載っている。

<\*2> 長福寺の西方約200m先に祀られている不動尊は、泉小次郎親衛の守り本尊といわれている。不動尊の左右には「男瀧(おたき)」「女瀧(めたき)」があり、土地の人々はこの付近を「瀧の前」と呼んでいる。

<11月のイベント予定>

- ◎ 11/ 3(日) 9:30～ 泉区民ふれあいまつり ⇒ コロナの影響で中止します。
- ◎ 11/15(日) 10:00～ 和泉中央連合ふるさとまつり ⇒ コロナの影響で中止します。